



江渡あきのり後援会だより

エトマン通信

発行所: 十和田事務所

第13号

〒034-0031

十和田市東三番町37-7

TEL.0176-24-3844

FAX.0176-24-3845

http://www.eto-akinori.jp/

新年の抱負を語る



郷土の未来を現実にも！

新年おめでとうございます。
平成二十二年度の新春にあたり、謹んで
ご挨拶申し上げます。

さて、昨年八月末の衆議院議員選挙は、
大変厳しい状況の下行されましたが、皆様のご
支援をいただきまして、四期目の当選を果
たすことができました。これも偏に皆様のご
支持、ご支援の賜物と、心から厚くお礼と感
謝を申し上げます。

今、国際社会は、金融危機と世界大不況か
ら脱しつつある中、我が国は、デフレと円高
のダブルパンチに見まわれ、しかも、政治の
混乱と政策のブレにより、明るい出口を見出
せないでおります。

一日も早い景気回復と雇用の確保を図る
事が最大の課題であり、早急な対応策を講じ
る事が大切です。又、国民の不安の払拭の為
にも、年金・医療・介護の問題を避けて通る
事は出来ません。より良い国づくりの為に汗
を流して参ります。

私、江渡聡徳は、日本を、地域を、元気にす
る為に、安心・安全な社会を創り、子供達の
明るい未来へ向けて全力で取り組みます。本
年もご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いい
し上げます。

本年が皆様にとりまして良い年となりま
すようご祈念申し上げます。



自由民主党副幹事長

衆議院議員 江 渡 聡 徳

ご声援、ありがとうございました。



23時17分、NHKの当選確実を合図に、4度目のパンザイ、そして、だるまへ……



十和田市にて、個人演説会



投票日前日
19時50分、事務所前にて最後のお願い

**皆様の暖かい応援を受け、
当選させていただきました。**

平成二十一年八月三十日に行われた衆議院総選挙、今回の選挙は、今までに経験したことがないほどの大逆風の中、厳しい選挙でした。全国的に自由民主党が惨敗する中、皆様のご声援に後押しされ、最後まで戦い抜き勝利することが出来ました。本当にありがとうございます。

皆様の期待に応えるべく、一生懸命頑張っています。これからも、皆様の応援よろしくお願い致します。

皆様のご支持、ご支援に支えられ**4期・10年**
この経験を生かし更なる**飛躍**を誓います！



3回目当選

平成17年9月11日

全国で2番目
(20時07分)
当選確実のテロップ

捲土重来を期し
走り回った3年8ヶ月、
ついに勝ちとった選挙

2回目当選

平成15年11月9日



1回目当選

平成8年10月20日

小選挙区制により、
この地域より
40年ぶりの代議士誕生
土壇場の大逆転



日本のために！



エトマンは飛び続けます！

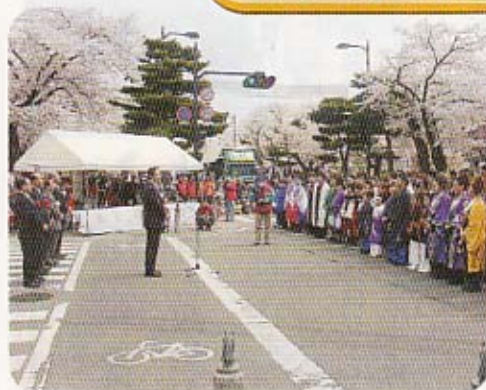
皆さんの夢を実現するために！



衆



地域の声を国政へ！



地域の皆様と！



今まで以上の応援、お願いします。

『江渡あきのり君を励ます会』

平成二十一年十二月五日(土)、「サン・ロイヤルとわだ」において、約七百名の出席者を迎えて『江渡あきのり君を励ます会』が盛会に催されました。

大島埋森自由民主党幹事長、木村太郎衆議院議員、青森県議会議員、各市町村首長、各市町村議員などたくさんの方の来賓も掛け付けて代議士を激励して下さいました。

江渡あきのりは更なる躍進を約束し、強い決意を語りました。



恵美夫人と共に



激励に駆け付けた大島幹事長

『時局講演会』

講師

小池百合子 衆議院議員
江渡 聡徳 衆議院議員

平成二十一年十一月二十八日(土)、「建設会館」に

おいて自民党十和田支部 青年局及び女性部の主催による『時局講演会』が開催されました。講師には、元環境大臣 小池百合子衆議院議員を迎え「自民党再生と地域経済の再生」という演題で講演を行われました。その後、江渡あきのり代議士の講演も行われ、充実した講演会となりました。会場には二百名を超える自民党員が参加し耳を傾け、自民党の再生を誓い合いました。

時局講演会

主催: 自民党十和田支部 青年局・女性部



エトマンは考える!

事業仕分けと政治主導



事業仕分けは、今回が最初ではありません。自民党においても、一年前に既に実施しています。消費税引き下げ議論を踏まえ、無駄遣いの徹底排除の為に、プロジェクトチームを立ち上げ、平成二十一年度予算において、全庁で約八八〇億円の削減を実現しました。しかし、この事業仕分けは、残念ながら国民の皆様にはそれほど注目されませんでした。

事業仕分けとは行政府が行う予算作業の一部ですから、今回、新政権が行政サイドで行ったことは大きな進歩かもしれません。しかし、本来の目的は、予算を作成する各省庁の意識改革を通して無駄遣いをなくす事が重要であり、まずは、民主党自身が挙げたマニフェストを仕分けの対象にするべきです。事実、今までの歳出項目にマニフェスト実現のための新たな項目が加わり、平成二十二年度一般会計予算(案)の歳出が九二・三兆円と過去最高となり、国債の発行額も四四・三兆円に膨れ上がりました。事業仕分けは、無駄遣いの目標金額を設定して、それをノルマとして作業を進めたり、一時的なパフォーマンスで行うものではありません。新政権は事業仕分けで三兆年の無駄削減を目指したものの、実際には約七五〇億円の留まりました。勿論、評価できるものもありましたが、開発費やスポーツ振興など、将来に向けた投資事業の「廃止」「削減」が目立ちました。

つまり前自民党政権下での予算に無駄はなかったと言えます。確かに今回の仕分けが注目され、税金の使い方について国民の興味を引いたことが評価できるかも知れません。しかし、真の政治主導、事業仕分けとは、各省庁の役人を怒鳴りつけたり、政策の落ち度や役人に押し付けるのではなく、官僚・各省庁の担当者や話し合い、国民が理解できる政策、国民が納得する減税増税を創り出すことではないでしょうか。選挙対策や、パフォーマンスだけで政権維持はできないのです。

江渡あきのりを応援したいと思っている方、又、活動内容などに関心のある方は、お気軽に「江渡あきのり事務所」までお問い合わせやご質問のご連絡を下さい。

TEL 0176-24-3844 FAX 0176-24-3845

アドレス: <http://www.eto-akinori.jp/> (ホームページもご覧下さい。)